

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年4月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691400107
法人名	医療法人 浩愛会
事業所名	グループホーム ひいらぎ
所在地	鹿児島県垂水市柊原625番地2 (電話) 0994-35-3686
自己評価作成日	令和5年2月27日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年3月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念である「思い・願いを大切に笑顔で楽しい生きがいつくり」をモットーに、入居者様がこれまで生活してきたこれまでの思いを大切にして、今までと変わる事がない生活ができるようにスタッフ皆で情報の共有に努めチームケアに取り組んでいます。法人の母体が医療機関のため医療や健康管理の連携も密にとり本人、ご家族、働くスタッフの安心にも繋がっています。現在も新型コロナウイルス感染拡大防止のため隣接している小規模多機能ホームや地域の方々との交流は自粛中で大きな行事も行えていませんが、施設内だけでも楽しめるレクリエーションの工夫や短時間の散歩やドライブなどを取り入れ、入居者様がストレスを感じず過ごして頂けるよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所の運営母体である医療機関と月2回の往診や緊急時の対応など連携・協力体制が整っており、事業所の看護師配置とともに家族の医療・健康面における安心となっている。
- ・コロナ禍のため、地域及び隣接小規模多機能ホームとの交流は自粛しているが、地域の保育園児や民生委員等の来訪、近隣住民からの野菜の差し入れは継続している。
- ・運営推進会議はコロナ禍のため書面開催が2回あったが、委員には警察官やNPO法人職員も含まれ、多彩な立場からの意見交換が行われている。
- ・家族とは窓越し面会となっているが、来訪時や電話に加えて事業所の便りや写真を年4回送付して近況報告を行ない、家族・本人相互の精神安定を図るとともに繋がりが途切れないように取り組んでいる。
- ・管理者・職員間のコミュニケーションは良好であり、管理者は資格取得や研修受講を勧めて質の向上を図るとともに、職員の事情に配慮して働きやすい職場環境の整備に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は玄関やホールの目につきやすい所に掲げ常に意識してケアができるようにしている。	理念は玄関・ホールが目につきやすい場所に掲示し職員が各自で確認してケアに当たっており、パンフレットにも掲載している。毎月ケア会議でケアの振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	振興会に加入し回覧板等で地域の情報は得ているが、コロナ感染防止の為、地域の方々との交流は控えている。	自治会に加入しているが、コロナ禍のため地域行事への参加は見合わせている。七夕飾りを持参した保育園児との交流や民生委員等の来訪及び住民からの野菜の差し入れは継続している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	今年度はコロナ感染防止の為認知症カフェ等行えていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所、民生委員、警察官が出席され意見交換している。推進会議で上がった話題を職員へ伝え、今後のサービス向上に努めている。	2ヶ月毎に実施の運営推進会議のうち2回は書面で開催した。行政や民生委員・警察官・NPO法人職員等の多彩な委員が参加し報告や情報交換を行っている。身体拘束や感染症対策についての意見を参考にサービス向上に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議時に情報交換するだけでなく、申請書類の手続きや相談事など電話や窓口に出向き助言をもらっている。</p>	<p>市の担当者とは、運営推進会議での意見交換や窓口に出向いての相談で協力関係を築いており、コロナ感染の報告等でも連携を密に図って取り組んでいる。研修はオンラインや対面で実施され積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会を3ヶ月毎に1回開催している。また法人研修やケア会議でも勉強会を行い理解できている。直接的な拘束ではないが言葉の拘束には気を付けるようにしている。</p>	<p>指針を作成しており、委員会は3ヶ月毎に法人で実施している。勉強会を年1回実施し、職員の理解を深めている。不適切な言葉に気づいた時は管理者から注意を促している。玄関は感染防止目的で施錠しているが、外に出たい利用者の行動は制限せず、一緒に庭や近隣の散歩等を行っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人研修で学ぶ機会を持っている。身体的虐待だけでなく言葉による虐待もないように職員間で意識し合い防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>法人内で勉強会が毎年実施され全員参加が義務付けられている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時説明を行っている。ご家族からも不明な点などがあればその都度聞いている。また改定や変更等あった時は文書にて案内し、同意書もとっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会・電話の際話を伺い意見や要望等あればできるだけ添えるようにスタッフ間で情報の共有をしている。</p>	<p>利用者には日常生活の中で要望を聞いて対応している。家族には、窓越し面会時や電話で要望等を聞いて対応に努めているが、外出希望については感染防止対策の法人方針を伝えて了解してもらっている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ケア会議、日常会話、個人面談等で出た意見を運営に反映している。</p>	<p>管理者は、毎月のケア会議や年2回の個人面談等で職員からの意見等を聞く機会を設けている。ケアに関する意見をケアの統一に反映させたり、休暇や勤務時間等の要望も対応に努めている。個別相談は随時管理者が受けている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>厳しい現状の中で整備されていると思う。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の内容をもとに職員を選出して、最適な研修に参加できるように心掛けている。また職場内研修も毎月行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会で得た情報や知識をケア会議で伝えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人の日頃の様子をみながら声掛けを行ったり、できるだけ本人の希望に添えるサービスを心掛ける。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>希望、不安などをしっかり聴いて不安が少しでも解消できるように努力している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>職員からの情報を精査して必要なサービスを提供している。必要に応じて必要なサービス利用を検討している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人と共に生活している家族のような関係を作り野菜の下ごしらえや洗濯などできることは協力してもらい自宅にいたような環境作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時、電話等で情報を伝えご家族の要望をできる限り実現できるようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>感染症対策で面会や外出が禁止されていますがこれまでの本人の築いてきた関係を絶たないように努めている。</p>	<p>窓越し面会時や電話での近況報告及び年4回発行のたよりに写真を送付して、家族との繋がりが途切れないよう支援している。かかりつけ医の継続や馴染みの理容師訪問など、これまでの関係継続に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者同士の関係性を把握してトラブルに留意しながら早目の対応を心掛け孤立しない支え合える関係作りに努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>地域の介護相談所でもあるのでいつでも相談に来て下さいと伝えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思い願いを聞き出せるような関係作りに努めている。困難な場合は日頃の関わりの中から見極め職員間で検討している。	日常会話の中で本人の意向を把握するように努めており、情報は記録で職員間の共有を図るとともに必要時は家族に連絡して対応している。意思疎通が困難な場合は、表情や仕草から思いを推測している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のサマリーやモニタリングに目を通し把握に努めている。ご家族やスタッフとの関わりで得た情報も共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中でできる事・できない事を探りできる事が継続していけるようスタッフ間でケアの統一に心掛けている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のケア会議でスタッフ間で意見交換し現状に応じた介護計画を作成している。	面会時や電話で出された家族の希望やケア会議時の職員の意見を入れて介護計画を作成している。毎日ケアの実施状況をチェックし、3ヶ月毎のモニタリングに繋げている。3ヶ月に1回及び状況変化時に見直し、現状に合った計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌は一日が一目でわかるように見やすくしている。変化や気づき等あった時は個別に記録しスタッフ間で共有し介護計画の見直しや実践に役立っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	スタッフ間で情報を共有し、必要なニーズに対応して可能な限り実践している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	感染症対策のため事業所行事、地域行事も中止となっており交流ができていない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前にかかっていた主治医と連携を図り、緊急時に対応できるように関連病院とも連携を図っている。	契約時に確認しかかりつけ医の継続を支援している。協力医療機関の月2回の往診があり、他科受診は家族対応を基本にしている。緊急時は職員の看護師から医療機関に連絡し、指示を受けて対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>状態変化があった時は必ず報告し指示をもらい対応している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご家族や入院先の相談員とも連携し情報交換を行い退院後も支障なく生活がでいるよう努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>時期をみて早い段階で主治医から説明を行い本人・ご家族の意思を確認し同意書を作成している。</p>	<p>ターミナル指針で入居時に事業所方針を説明している。医師から家族への説明後に、家族の意思を確認し同意書を得ている。系列の老人保健施設希望が多いが、家族の希望に沿って事業所状況も合わせて検討し、看取り介護に取り組んだ事例が数件ある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年一回救急訓練（心肺蘇生法、AED使用方法）を実施、緊急時に備えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回昼夜想定で避難訓練を実施している。</p>	<p>年2回昼夜想定での避難訓練を実施している。コロナ禍のため消防署の立ち合いは無く、隣接の小規模多機能ホームとは別に単独で実施している。地域の公民館と災害協定を締結しているが、早めに法人施設に避難する計画である。非常用の備蓄は、5日分の水・食料等で、カセットコンロも確保し、法人でリストを作成し管理している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	敬意を持って笑顔で接しプライドを傷つけないように人格を尊重しながら言葉遣い・接し方に心掛けている。	接遇研修を年1回実施し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努め、入室時のノックやケア前の声掛け、さん付けでの呼びかけなどを行っている。申し送りはホールで実施し、利用者に内容がわからないよう配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望や思いを実現できるように本人の意見を傾聴し、またご家族の情報を参考にして自己決定できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	パーソンセンタードケアを基本にしてその方のペースで生活できるように努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の意思を大事にししながらアドバイスして季節に合わせた服装を選んでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好や形態に配慮し個々に合わせ提供をしている。季節を感じられるメニューやお菓子作り、リクエストにも答えている。	嗜好調査を実施し、個々に合わせた食事形態で提供している。職員が献立・調理を担当し利用者も一緒に下ごしらえをしている。季節の行事食や誕生日のケーキ、テイクアウトのすし等で食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者のその時の状態に合わせて提供法をかえたりしながら摂取できるようにしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後声掛けを行いできる範囲で行ってもらいできない所は職員が手伝っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>本人の状態、排泄記録をみながら声掛けや誘導を行い、自己にてトイレ排泄ができるよう支援している。</p>	<p>昼間はトイレでの排泄を基本に支援しており、排泄チェック表で把握したパターンを基に声掛け・誘導を行っている。夜間はオムツやポータブルトイレも身体状況に合わせて使用し、排泄用品は個々に合わせて適切なものを使用している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄記録表で排便の状態を確認し個々に応じて薬剤の使用など検討し快適な生活ができるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>その日の体調に合わせ無理な入浴誘導は行わず本人の意思決定を考慮している。</p>	<p>週2～3回の希望する時間に入浴を支援しており、必要時の2人介助対応や好みのシャンプーを使用するなど、安心して個浴を楽しんでいる。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>一人一人の生活パターンに応じてリラックスし休憩できるようにしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬管理簿を作成し個々の薬の情報をすぐに確認できるようにしている。本人の状況により手渡しや全介助までその方に合った与薬を行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>できる事に合わせて手伝いをもらったり、昔から得意だったことなどを十分生かせるようにレクリエーション等提供している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>感染対策でまだ外出禁止となっており自由にでかけることはできませんが、近所の散歩をしたり外気浴をかねて屋外で食事をしたりしている。</p>	<p>コロナ禍のため外出は制限しているが、敷地内や近隣の散歩・庭での日光浴・食事や花見のドライブ等、できるだけ戸外に出かけられるようにしている。家族と他科受診で外出する利用者もいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理できる方は自分で持ってもらいできない方は買い物も希望などあればご家族に買ってきてもらっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話したいと希望があればその都度行っている。手紙もやり取りができるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感が伝わるように展示物を共有スペースに飾っている。また湿度・温度を測定し過ごしやすい空間作りに努めている。</p>	<p>ホールは、天井が高く天窓があり、明るい室内である。空気清浄機や加湿器、サーキュレーターで適度な室内環境に調節している。感染症対策のためテーブルは同一方向に向いて座るよう配置し、換気は天窓を開閉している。和室スペースにもソファが置かれ、好みの場所できつろげるよう工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間でもソファを置いたり、和室でもゆっくりできるようなパーソナルスペースの確保に配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が使いやすいように配置し変更があれば手伝っている。また使い慣れた物を持ってきてもらいラックスして過ごせるように配慮している。</p>	<p>居室には、ベッドやタンス・エアコンを設置し、寝具はリースである。本人はテレビやテーブル・いす等の使い慣れたものを持ってきたり、写真を飾って落ち着いて過ごせるように部屋作りをしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>その方の状態に応じて安全に過ごせるようにスタッフ間で連携し改善している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない